



上郷水道管橋（撮影 阿部会員）

令和2年 8月号 Vol.196
(2020年)

発行：令和2年 8月 8日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 阿部 啓冊



会員投稿

《道標を知る（林地区）》

鈴木 正和

道標MAP作りの会員研修として3月1日（日曜日）に道標巡りを実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止になったモデルコース（林地区）を紹介します。

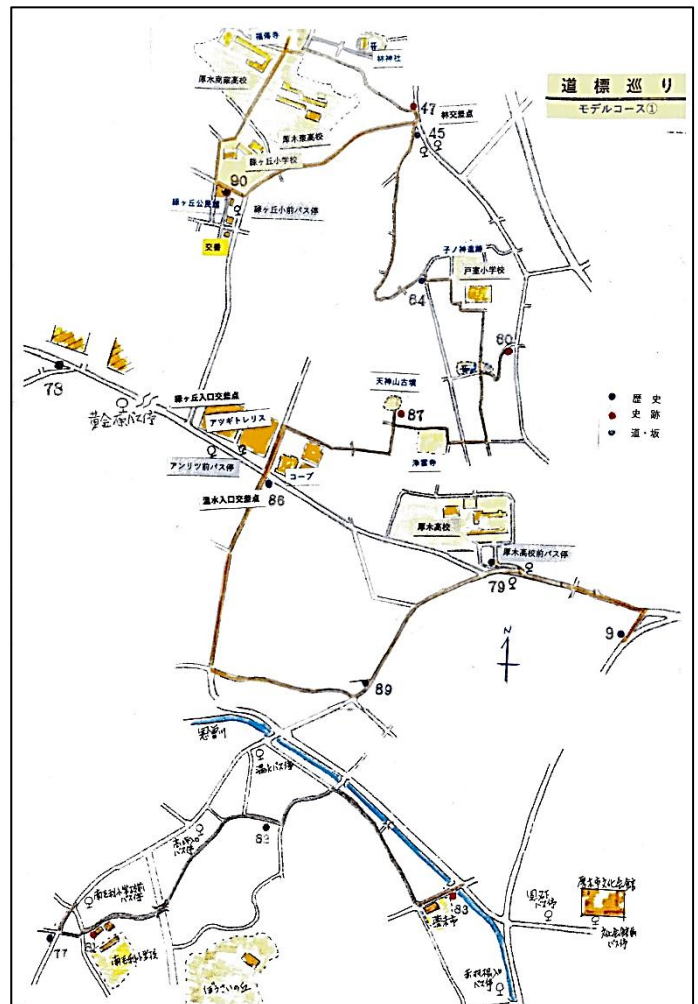
今後、個人での散歩やグループでの散策に活用してください。

「緑ヶ丘小学校前」バス停で下車し、緑ヶ丘公民館敷地の東角に90番道標「王子神社鳥居の礎石」があります。もとは緑ヶ丘小学校校庭から発掘されものを現在の場所に移したのですが、この場所から現在の王子神社まで直線で結ばれていたようで、昔は現在の厚木商業高校を挟んで二つの谷戸で結ばれていたようです。

道標巡りのコースは林交差点まで東へ下り45番道標「糟屋道」へと続きますが、せっかくだから王子神社の参道があったであろう道を厚木商業高校経由で福伝寺に寄られることをお勧めします。荻野山中藩の裏門を移築したといわれる山門をくぐると境内には厚木で最古の「弘安4年の板碑」や相模人形芝居を今に伝えた吉田朝右衛門の墓と碑があります。

福伝寺からは、東へ道を取り林交差点に向かうと県道脇に野州烏山藩の47番道標「高札場跡」です。45番道標「糟屋道」

からは案内マップに沿って84番道標「座頭転がし」を経由して進みます。途中浄雲寺境内に三味線と浄瑠璃の名人溝呂木治郎吉翁の顕彰碑「糸塚之碑」、治郎吉の子岩次郎の「撥型墓石（ばちがたぼせき）」に掃苔（そうたい：墓参りの意）することができます。このコースでは9番道標「牛頭天王社・天王免旧地」でウオーキングの終了ですが、まだまだお



元気な方は「合同庁舎前」バス停から「七沢行」バスに乗車し、「南毛利小学校前」バス停で下車して夢末市そばの 83 番道標「亀の子橋」まで足を延ばし、お天気が良ければ途中の「防災の丘公園」へ寄り道してはいかがでしょうか。

なお道標には右側面に由来文が書かれていますので、ぜひご覧になってください。



会員投稿

《道標を知る（荻野地区）》

三平 与志子

コロナ禍で自粛中でしたが3蜜にならず自然の中の道標を見て歩くくらいなら、良いと思い荻野地区「道標NO48～58」を散策しました。

「殿様道」は周囲を住宅が建ち並んで居りました。この道は「荻野山中陣屋」に通じ参勤交代の時は陣屋→法界寺→妻田→厚木へと、そして江戸へ向かいました。

源氏河原は明治6年（1873）6月上荻野の源氏河原に第百三十四番小学静学館第二支校が開かれた場所です。近くには天保12年（1841）銘の新四国八十八箇所の標柱があり松石寺に通じています。

打越峠（おっこしとうげ）の道標を右に見て雑木林を降り途中小名海底（こなおそこ）の鎮守様「日月神社（にちげつじんじゃ）」にお参りして愛川町の海底部落へ到着しました。海底部落は幕末より最近まで手漉きの和紙が作られており鳶尾山連峰の北側に位置し部落の下には中津川が流れています。日陰地区なので水田耕作は出来ません。山の斜面に楮（こうぞ）を植え「海底和紙（おそこわし）」を作っていました。



上荻野地区源氏河原



上荻野地区松石寺入り口



下荻野地区宿原殿様道



上荻野打越地区

～編集担当から～

道標調査を行った会員から、「玉川ジグザグ散歩」が届きました。

道標調査で印象に残った風景をまとめられたもので、四月の初めに三人で歩かれたそうです。新型コロナのはやりだした頃であったため、まめな手洗い、マスクの着用、お互いに距離を取って歩くことに気を使いながらであったようですが、どこでも満開の桜を目にすることができ、優しく迎えられたようで気持ちの良い一万七千歩の散策になったそうです。通常は一日一万歩を目標といいますから三人の方は二日分を歩いた計算になります。

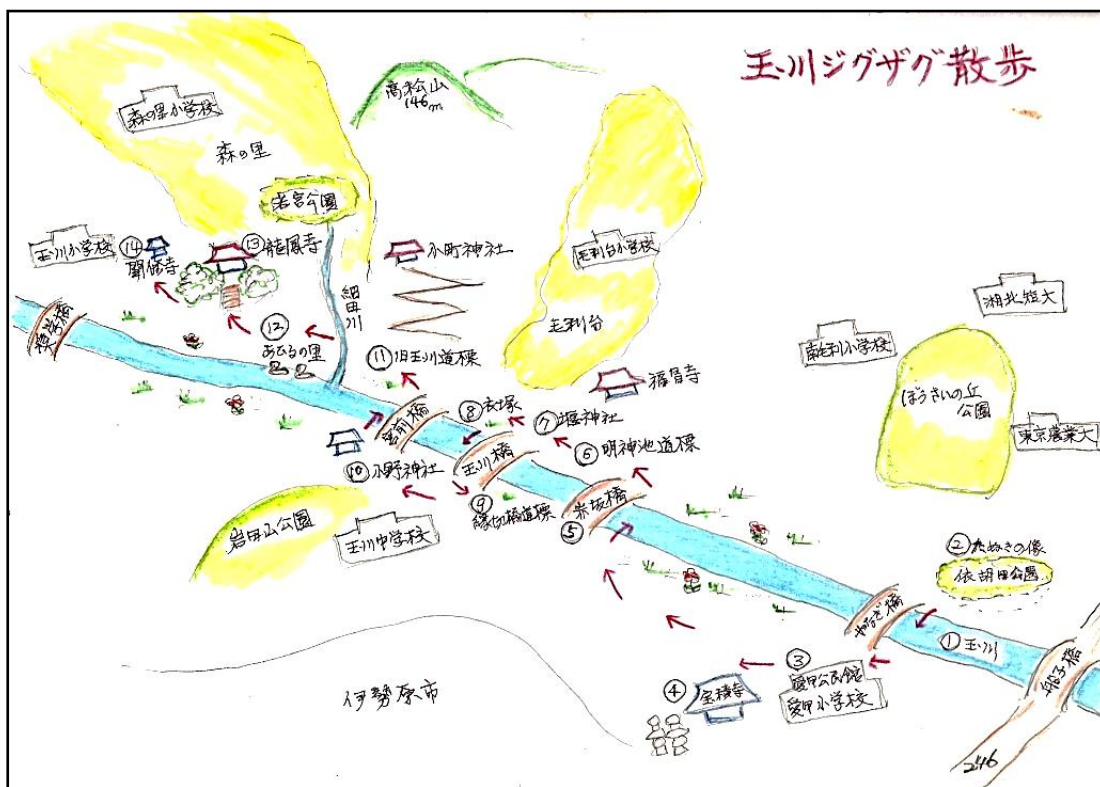
玉川から間修寺までの行程を 10 ページに渡り楽しくお書きいただきましたので、数回に分けて掲載します。写真を交えた楽しい散歩道紹介となっています。

《玉川ジグザグ散歩（その1）》

佐々木 靖子

1. 玉川

43 年前に東京から引っ越してきました。それ以来、玉川べりの四季折々の田園風景が大好きです。その頃は菜の花畑やれんげ田が沢山ありました。今でも、のどかな風景は残っています。散歩の途中に見つけた「あれ面白そう」「これって何？」などを折り込んで、肩の凝らない歩きやすい散歩コースを作ってみました。



昔の玉川は曲がりくねったあばれ川でした。昭和 16 年 7 月の玉川決壊の大惨事後、4 年 3 ヶ月の歳月をかけ、昭和 21 年 4 月に今の新玉川が完成しました。新玉川は短い川ですが一級河川であり、橋は玉川小学校の所の奨学橋から始まって、246 号線の船子橋まで 5 キロたらずに 15 橋あります。カワセミを始めカルガモ、シラサギ、ウなどの水鳥が沢山飛来します。

まずは、順番通りに玉川を下流から上流へとジグザグに歩きましょう。

最近の活動

日 時	場 所	内 容	参 加 者
7月 11日	アミューあつぎ	定 例 会	会員 20名
8月 1日	アミューあつぎ	役 員 会	会員 7名
8月 2日	厚 木 市 内	夏季観光客入込み調査	会員 10名
8月 3日	寿 荘	編 集 会 議	会員 5名

令和2年8月・9月 行事

	日 時	行 事	会場・場所	内 容	申 込 先
8 月	6日(木) 11:20~13:30	屋外昼食会	岩田山公園	弁当 560円 飲み物、シート等 持参	サークルスクエア
	8日(土) 10:00~13:00	定例会・勉強会	保健福祉センター	マスク着用 定員 20名	サークルスクエア
9 月	5日(土) 09:00~12:00	役 員 会	アミューあつぎ	—————	サークルスクエア
	12日(土) 10:00~13:00	定例会・勉強会	アミューあつぎ	マスク着用 定員 20名	サークルスクエア
開始時間が変更になる可能性がありますので、サークルスクエアで確認してください					

お願い 行事予定が決まりましたら、阿部あてメールでご連絡下さい。

提出期限は定例会の1週間前（編集会議と印刷のため）

編 集 後 記

巻頭の写真は横須賀すいどう道で使用されていた上郷水道管橋です。石小屋で取水した水は厚木、海老名、藤沢を經由し53km先の横須賀まで42mの落差だけを利用して送水されていましたが、水質の悪化、施設の老朽化により平成27年に送水路は廃止されました。採取された水が相模川を越えるため大正7（1918）年、三川合流に掛けられた水道管橋は水道管専用の全長500m10連トラス構造を持つ橋で、外からは確認できませんが水道管には所有者であった海軍の印があるそうです。

100年以上たった現在でも美しい姿を保っている橋ですが、水道の廃止に伴い撤去することも検討されているようです。

編集委員 阿部 啓冊 澤田 正弘 高野 宏
寺田 敏 長谷川 和美 三平 与志子